

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護過程展開技術	1	30	1	専任教員（公益社団法人 地域医療振興協会に委託）
ねらい	看護を計画的に実践することの必要性とその展開技術を学び記録・報告できる			
回数	授業内容			授業形態
1回目	講義の概要と進め方 問題解決思考 クリティカルシンキング 看護過程の構成要素と一連のプロセス			講義
2回目	看護過程を用いる意義 Vヘンダーソンの看護理論について ・V・ヘンダーソンの人間・環境・健康・看護の捉え方 ・基本的欲求の充足と未充足			講義
3回目	V・ヘンダーソンの看護理論を用いた看護過程：情報収集 ・14項目の枠組み ・情報収集のための3つの視点 ・情報収集 S情報とO情報			講義
4回目	14項目のニードの枠組みの分析・解釈の視点と方法（4ステップ）			講義
5回目	看護問題の明確化 PES方式の記載 看護問題・共同問題の出し方（アセスメントと関連付けて）			GW・講義
6回目	基礎看護学演習の要項の説明 事例患者（潰瘍性大腸炎の患者） 患者プロフィールの読み込み（常在条件・病理的状態の視点）			演習
7回目	データベースの記載 14項目の視点の情報収集と整理			GW 演習
8回目	14項目の分析・解釈の実施（一部モデリング） 4ステップでアセスメント実施			GW 演習
9回目	14項目の分析・解釈① GW・個人W/G指導・個人指導			演習
10回目	14項目の分析・解釈② GW・個人W/G指導・個人指導			演習
11回目	看護問題の明確化（PES方式での記入） 共同問題の出し方 看護問題リストの記載			演習
12回目	看護計画の立案① モデリング GW・個人W			演習
13回目	病態関連図で整理してみよう（アセスメントした情報→看護問題） 潰瘍性大腸炎の患者事例通しての記載方法 追加→修正			演習
14回目 14.5回目	看護の実施 評価 計画の修正・追加記録 報告の意義、方法、留意点			演習
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	① 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護技術 I（医学書院） ② 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践（ヌーヴェルヒロカワ）			
評価方法	筆記試験：75点（45分間） ・ 看護過程：25点			
備考	問題解決思考をしっかりと身につけていきましょう。また看護過程の展開の方法や、決まり事、記録の記載方法など、これから始まる臨地実習では重要な視点となります。配布プリントも多くなりますが、しっかり整理をして学習していけるように一緒に頑張りましょう。			

